

## **【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成および実施の基本方針）**

本校では、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しています。

### **《全学科・専攻科共通》**

#### **(A)主体的学習能力**

主体的な学習態度を養うため、低学年において各専門学科の動機付け科目、入門的な科目を用意しています。また自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップなどの素養を身につけることを目的とした各種実験・実習・演習系科目を各学年に用意しています。さらに、生涯にわたり継続的に活動できる心身ともに健康な技術者を目指して保健体育、キャリア教育支援プログラムに関わる科目群や学生の主体的参加型の活動を用意しています。

(A-1) 主体性の涵養

(A-2) 保健体育及び芸術

(A-3) キャリアデザイン能力

#### **(B)創造的思考力**

各学科、専攻科において創造的な工学実験、実習、演習および卒業研究、特別研究により、課題を発見する思考力や計画から実行までを含めた課題解決能力を養うための科目群を用意しています。また専攻科では、異分野対応力を養うことを目的とした横断型の実習科目を用意しています。

(B-1) 創成型活動

(B-2) エンジニアリングデザイン能力

#### **(C)国際的対応力**

グローバルな技術者として必要となる一般的な教養科目群（人文・社会科学）を低学年から用意しています。また、国際的に通用するコミュニケーションツールとしての英語をすべての学年で用意し、高学年では第二外国語を用意しています。

(C-1) 一般教養

(C-2) コミュニケーション能力

#### **(D)専門的能力**

<準学士課程>

すべての専門分野で必要となる数学、自然科学、工学基礎に関する科目群を主には低学年で用意し、学年が進行するに従って専門工学、工学実験・実習、技術者倫理などの科目群をくさび型に配置することで、専門的能力や実践的技術を効率的に習得する科目群を用意しています。

(D-1) 理学

(D-2) 基礎工学

(D-3) 専門分野

(D-4) 技術者倫理

<専攻科課程>

準学士課程で身につけた各専門分野（機械工学分野、電気電子工学分野、情報工学分野、土木工学分野、建築学分野）の専門的能力をさらに深める科目群を用意しています。また、異なる分野を融合した問題解決手段により、新しいものづくりを開発するために必要な能力を身につける科目群を用意しています。

(D-1) 理学

(D-2) 先端融合開発学域

(D-3) 専門分野（機械工学分野、電気電子工学分野、情報工学分野、土木工学分野、建築学分野）

(D-4) 技術者倫理

## (E)情報通信技術

情報リテラシー科目を低学年で配置するとともに、情報機器等を用いる科目や情報処理能力の向上を目的とした実習・演習系科目を用意しています。

(E-1) 情報リテラシー

(E-2) 情報機器活用能力

以下、各学科で用意された各科目群の特徴を説明します。

### 《一般科目》

**一般科目の主体的学習能力を涵養するための科目群：**心身の健康と組織力の素養を育成するため、第1学年から第4学年まで体育実技を設定しています。また、実践的思考力を養うための社会科系科目を設定しています。

**一般科目の国際的対応力を涵養するための科目群：**グローバル人材に必要な語学と人文系教養の基礎を身につけるため、語学科目および社会科系科目を開設しています。

**一般科目の専門的能力を涵養するための科目群：**工学の基礎となる数学、物理、化学だけでなく、生物・地学を含んだ総合的な理科系科目も設定しています。

### 《機械工学科》

**機械工学科の主体的学習能力を涵養するための科目群：**第1学年にもものづくりに関わる導入教育科目を設け、第2学年以上の各学年に、機械設計製図系科目、機械加工系科目、及び機械工学実験系科目の実習・演習系の科目を用意しています。

**機械工学科の創造的思考力を身につけるための科目群：**課題解決能力を涵養するために、第4学年に実習系科目、第5学年に卒業研究を用意しています。

**機械工学科の国際的対応力を身につけるための科目群：**外国語科目のほか、専門分野の英語を扱う科目を準備しています。

**機械工学科の専門的能力に関する科目群：**機械工学の4力学（材料力学・熱力学・流体力学・機械力学）に関わる基礎科目のほか、境界領域に関わる講義系科目と実験系科目、演習系科目を用意しています。

**機械工学科の情報通信技術を身につけるための科目群：**低学年では情報リテラシーの基礎科目を設け、学年進行に従い情報処理、あるいは数値計算法等の高度な科目群を準備しています。

### 《電気情報工学科》

**電気情報工学科の主体的学習能力を涵養するための科目群：**主体的学習で課題を解決する能力を涵養するため、高学年に実習系科目、さらに第5学年に卒業研究を用意しています。

**電気情報工学科の創造的思考力を身につけるための科目群：**第1学年で思考力育成に向けた基礎教育を行い、第2学年以上の各学年に、電気情報工学に関する実験を通して創造的思考力を養います。

**電気情報工学科の国際的対応力を身につけるための科目群：**電気情報工学科において一般科科目として行われる外国語に加えて、専門領域の英語やコミュニケーション能力を育成する科目を用意しています。

**電気情報工学科の専門的能力に関する科目群：**電気情報工学に関わる電気電子系、情報工学系の基礎および応用内容の科目を講義形式、演習形式、および実験・実習形式で実施することにより専門的能力を高める工夫をしています。

**電気情報工学科の情報通信技術を身につけるための科目群：**低学年次にプログラミングなどを含んだ情報通信技術に関する基礎科目を設け、高学年次により高度なプログラミング科目と情報通信技術に必要な不可欠な専門科目群を準備しています。

### 《電子制御工学科》

**電子制御工学科の主体的学習能力を涵養するための科目群:**第1学年に電子制御分野に関わる導入教育科目及び実習科目を設け、第2学年から第4学年に、電子制御系の製図科目、実験・実習科目を用意しています。

**電子制御工学科の創造的思考力を身につけるための科目群:**課題解決能力を涵養するために、第4学年に実験・実習系科目、第5学年に卒業研究を用意しています。

**電子制御工学科の国際的対応力を身につけるための科目群:**外国語科目を準備するとともに、電子制御工学の専門分野で英語表現を扱う専門科目群及び卒業研究などを準備しています。

**電子制御工学科の専門的能力に関する科目群:**電気電子工学系に関わる専門科目、機械工学系に関わる専門科目、情報・制御系に関わる専門科目及び、実験系科目を用意しています。

**電子制御工学科の情報通信技術を身につけるための科目群:**低学年では情報リテラシー等を学ぶ情報処理科目を設け、学年進行に従い情報処理言語やデータ処理を学ぶ情報処理系・情報通信系の科目を準備しています。

### 《環境都市工学科》

**環境都市工学科の主体的学習能力を涵養するための科目群:**第1学年に導入教育科目を設け、第2学年以上の各学年に、自身のキャリアプランニングを育成させる実習・演習系科目を用意しています。

**環境都市工学科の創造的思考力を身につけるための科目群:**課題解決能力を育成するための科目を主に高学年に用意しています。

**環境都市工学科の国際的対応力を涵養するための科目群:**外国語科目のほか、文化・社会問題を捉えてコミュニケーションできる力を育成する科目を主に高学年に用意しています。

**環境都市工学科の専門的能力に関する科目群:**5系の主要分野（構造系・地盤系・水理系・環境系・計画系）を座学と実験・実習を並行して学修する科目を用意しています。また、第5学年には分野横断型の科目、学術的な科目および実務的な科目を選択できるように用意しています。

**環境都市工学科の情報通信技術を身につけるための科目群:**低学年で情報リテラシーを身につけるとともに情報機器を使用する基礎科目を設け、高学年に情報通信技術を適用する専門科目を用意しています。

### 《建築学科》

**建築学科の主体的学習能力を涵養するための科目群:**第1学年に建築学を包括する導入教育科目を設け、第1学年～第2学年において基礎的技術の修得となる演習系科目を配置し、第3学年以降に実験・演習系の科目を用意しています。

**建築学科の創造的思考力を身につけるための科目群:**課題解決能力を育成するための科目を主に高学年に用意しています。

**建築学科の国際的対応力を身につけるための科目群:**外国語科目および英語を扱う専門基礎分野の科目のほか、グローバルな視点で建築や都市を理解するための科目を用意しています。

**建築学科の専門的能力に関する科目群:**建築学科の3系（計画・構造・環境）に関わる基礎科目に加え、講義系科目と並行してより実践的な学修を行う実験演習系科目を用意しています。また、第5学年では実務的な科目やより高度な専門技術に関わる科目を用意しています。

**建築学科の情報通信技術を身につけるための科目群:**情報技術の基礎・リテラシーから利活用までを学習する科目を用意しています。

### 《専攻科先端融合開発専攻》

先端融合開発専攻の主体的学習能力を涵養するための科目群：1年次から実践的な実験実習科目を設け、2年次には社会問題解決能力を育む実験実習科目と教育課程の総まとめとなる特別研究を用意しています。

先端融合開発専攻の創造的思考力を身につけるための科目群：創造的思考力を涵養するために実践的な実験実習科目、および社会問題解決能力を育む実験実習科目と教育課程の総まとめとなる特別研究を用意しています。

先端融合開発専攻の国際的対応力を身につけるための科目群：国際的対応力を涵養するために、一般教養を育む社会倫理科目とコミュニケーション能力を育む英語科目を用意しています。

先端融合開発専攻の専門的能力に関する科目群：機械工学、電気電子工学、情報工学、土木工学、および建築学を基礎とし、各分野の融合を含めた科目群に加え、科学・数学等の理学系科目と技術者倫理科目を用意しています。

先端融合開発専攻の情報通信技術を身につけるための科目群：情報通信技術を涵養するために、情報機器の活用能力を育む情報工学系の講義科目と実験実習科目を用意しています。

### 《成績評価及び単位認定基準》

これらの科目における単位取得の認定は、各科目のシラバスに基づき、以下の方法で行います。

- 成績評価は、主には定期試験、提出物及び平素の学習状況等を総合して実施し、評価基準は総得点率の60%以上を合格とします。
- 履修した授業科目の単位修得は、以下の成績評価6以上で認定します。

総得点率(%)	10段階表示	標点区分
80以上	10~8	優
70~80未満	7	良
60~70未満	6	可
60未満	5~2	不可